

MIRA

MISHIMA INTERNATIONAL
RELATIONS ASSOCIATION

通信

<https://mishima-life.jp/mira/>

No. **109** 2019年

令和元年 6月30日発行

三島市国際交流協会

〒411-8666

静岡県三島市中央町5-5

三島市役所中央町別館

TEL (055) 976-1020

FAX (055) 976-1021





元号が令和に改編されてから初の三島市交流協会総会が、5月8日(水)みしまプラザホテルにて開催されました。平出会長の挨拶、来賓の豊岡市長の祝辞の後、議事に入り、平成30年度の事業報告、同決算報告、監査報告、令和元年度事業計画(案)、同予算(案)が審議され、承認、可決されました。

総会終了後は、会場を移して懇親会が行われました。懇親会には麗水市より来島していた「住宅・都市建設視察団」の皆さんも参加し、大勢のMIRAメンバーによる“熱烈歓迎”を受け、両市の友好をより一層深めることができました。



麗水市住宅・都市建設視察団受入事業

2019年5月8～9日



駅前開発視察

団長

鍾 小松
潘 建亮
王 燕梅
叶 茂松
張 文輝

麗水市住宅&都市建設局 局長
麗水市人民政府外事&僑務弁公室 副主任
麗水市雲和県住宅&都市建設局 局長
麗水市松陽県住宅&都市建設局 局長
麗水市園林管理局 局長



三ツ谷工業団地視察

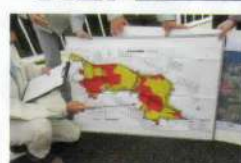


▲派遣講師の先生と再会

麗水市住宅・都市建設局局長の鍾小松団長率いる一行5人が三島市を訪れ、三島駅前整備や市内の水辺環境、三ツ谷工業団地の土地利用計画などを視察しました。

1日目は、白滝公園から源兵衛川を抜けて、広小路近辺から商店街を通りプラザホテルまでを散策。歓迎会では多くの人たちに暖かく迎えられ、互いの絆を深めることができました。また、2日目は、三島駅前開発の現状と三ツ谷工業団地を視察しました。

視察団は、①三島市の水辺環境が整備され、水質と地下水の水量保全など厳格な管理のもとにあること ②駅前ロータリーの機能が充実し、電車、バス、タクシーなどの乗り換えアクセスが良いこと ③工業団地では、降雨後には土を乾かすなど土地の整備が細やかな配慮の元に行われること、平地を造成する麗水市とは違って、丘陵地では調整池を造ることなどに驚いていました。また同市では、現在ゴミの回収や処理方法も取組中で、いくつか参考になる点もあったようです。鍾団長は、『工業団地の污水处理が市の基準に基づき各企業により行われることがヒントになった』と語り有意義な視察が行えたようでした。



静岡県国際交流協会創立30周年記念賞を受賞

フрендシップ事業



静岡県国際交流協会（SIR）創立30周年の記念事業「人・ヒト・ひと 県民国際交流 ～つながってひろがる～」の一環として、地域において成果や効果が得られた国際交流及び多文化共生の取組の公募があり、三島市国際交流協会（MIRA）では、国際理解・交流推進部門に「海外との交流／フрендシップ事業」として応募したところ、「静岡県国際交流協会30周年記念賞」に選出されました。

国際理解・交流推進部門に19件、多文化共生推進部門に14件の応募があり、一般閲覧者の投票と、選考委員会による選考（選考基準は①独自性②継続性③連携性④社会性⑤

将来性）により選定されたとのことです。最も評価の高い「国際交流先進活動賞」には、国際理解・交流推進部門では、「ネパール・日本友好懸け橋活動」（マハラジャン・ナレスさん、マハラジャン・ディリブさん）、多文化共生推進部門では、「外国につながる子供たちの日本語・学習支援及び母国語・継承語支援」（浜松外国人子ども教育支援協会）が受賞しました。なお、三島からは、多文化共生推進部門の30周年記念賞に「学習支援教室／のびっ子クラブ」（のびっ子クラブみしま）も選出されました。

3月10日（日）、静岡県男女共同参画センター「あざれあ」において、静岡県国際交流協会創立30周年記念式典・先進活動表彰が開催され、高貝亮SIR会長より、金子諭MIRA広報委員長に表彰状が手渡されました。



麗水市農業交流訪問団来島

麗水職業技術学院副院長の潘洪峰さん、同学院継続教育学部学部長の余紅平さん、同学院園芸技術教授余徳松さんの3名が、5月22日来島しました。今回の訪日の主目的は、静岡県立農林大学校での、農業労働者の人材育成に関するプログラムの推進と相互協力、大学の農業基地の見学などですが、友好都市である三島にも立ち寄ったものです。豊岡市長を表敬訪問したのち、三島函南農協を訪問し、日本独特のシステムである農協の仕組みや役割などの説明を受け、農業従事者の「相互扶助」についての見識も深めたようです。その後、ミニトマトを水耕栽培している農家のハウスを見学し、水資源豊かな麗水市での水耕栽培の可能性について意見交換するなど交流を行いました。



市立小中学校に 図書を寄贈



毎年恒例となっている図書の寄贈のため、平出利之会長ほか役員が、4月25日、三島市教育委員会を訪れ、西島玉枝教育長、鈴木佳憲教育推進部長に市立小中学校21校分の本を手渡しました。

この本は「なるほど知図帳世界2019 ニュースと合わせて読みたい世界地図」というもので、世界地図ばかりでなく、世界の情勢、国際ニュース、時事問題などを、写真や表などを駆使してわかりやすく解説しており、楽しく教養が身に着く図書です。図書の寄贈は、協会が保有する国際交流振興基金を活用して行っている事業で、今年で、15回目となりました。



「息子を日本に連れてきたかったの」「日本に来てよかったです」 ～パサディナふるさとツアーメンバー、三島を訪問～

三島のみなさん
ひさしぶり～



ブライアンさん御一行様、到着

3月14日～22日、MIRAと長年の交流がある姉妹都市パサディナ姉妹都市委員会三島副委員長ブライアン・タケダ氏の引率で、ふるさとツアーメンバー10人が本州各地を訪問しました。途中16・17日の箱根・三島から富士宮方面に向かう行程では、MIRAメンバーと交流。市内散策をしたり食事を楽しんだりして、友情を深めました。

参加者のオオタ・イツコさん(93)が「息子を日本に連れてきたかったの。しぶしぶ来たけれど、すっかり気に入ったみたい」と話すと、息子のロバートさんは「ふるさと日本に来て、ほんとによかった」と、うれしそうに2人で写真に納まっていました。



MIRAレジェンド
元会長小松幸子さんが
ガイドを務めて
くださいました
(右から2人目)



スカイウォークを渡った先にはハートのフレームがありました♡



三島・パサディナの交流に携った人が、たくさん集まりました



大社の神様はみんなの願いを
かなえてくれます



大人だって源兵衛川は大好き



ロバートさん、
お母さんと一緒に
日本に来られて
よかったですね

(敬称略)

パサディナからの参加者

Bryan Takeda
Jerilynn Takeda
Itsuko Ota
Nancy Toyota
Joanne Soo Hoo
Peggy Mayeda
Robert Ota
Deena Yanari
Franklin Kam
Judy Kam

三島からのツアー参加者

小松 幸子
平出 利之
望月 眞弓
瀬川 幸信
伊東 三和子
広田 友子
小田 清彦
渡邊 靖乃
植松 和男
高田 麻理
李 寧

ふるさとツアー日程

3/14 成田空港着
3/15 浅草寺 東京スカイツリー
3/16 ロマンسカーで箱根湯本着
三島スカイウォーク
三島市内散策 歓迎会
3/17 富士山世界遺産センター
3/18 松本城 高山
3/19 白川郷 兼六園
3/20 山城温泉 京都散策
3/21 伏見稲荷 金閣寺 嵐山
3/22 関西国際空港発

クライストチャーチ銃撃事件の悲しみを越えて ～ニュープリマス市派遣研修生事業報告～

3月21日～29日、姉妹都市ニュージーランド・ニュープリマス市派遣研修生事業に研修生10人と指導員2人が派遣されました。一行がニュープリマス空港に到着したのは、クライストチャーチ銃撃事件からちょうど一週間たった現地時間の22日午後1時30分前。研修は、空港内で行われた黙祷から始まりました。

不安そうな表情でホストファミリー宅に向かった研修生たちですが、1週間の滞在中にすっかり家族の一員となり、一段とたくましくなって帰路につきました。悲しみに沈むニュージーランドの人々にとって、研修生の訪問は平和への思いを強くすることに役立ったのではないのでしょうか。



姉妹都市提携10周年を記念して建てられたミシマ・トリイ・ゲートにて



マオリの伝統のあいさつでむかえられました



学校の雰囲気は、日本とたいぶ違うね



指導員さんたちは
ラグビーワールド
カップのPRも
がんばりました



富士山そっくりのタラナキ山について勉強



すっかり仲良くなりました♪

日程

- 3/21 成田空港発
- 3/22 ニュープリマス着 歓迎会
- 3/23 ホストファミリーとの生活体験
- 3/24 ホストファミリーとの生活体験
- 3/25 学校訪問
- 3/26 学校訪問
- 3/27 タラナキ山 ブケクラ・パーク
- 3/28 ワイトモ鍾乳洞
オークランド博物館
- 3/29 オークランド空港発
成田空港着

参加者 (敬称略)

【公募】

- | | |
|--------------|---------------|
| 阿部 円香(北中2年) | 杉山 晶大(南中2年) |
| 辻野 晴大(南中2年) | 飯島 颯大(山田中1年) |
| 渡邊 陽菜(山田中2年) | 石井 美帆(北上中1年) |
| 高木 琉伊(錦田中2年) | 杉山 凜(静岡雙葉中2年) |

【MIRA英語スピーチコンテスト優勝者】

- | | |
|-------------|--------------|
| 矢山 天璃(北中3年) | 村川 健太(葦山高1年) |
|-------------|--------------|

【指導員】

- | | |
|--------------|------------------|
| 植松 和男(環境市民部) | 兼子 恵美(地域包括ケア推進課) |
|--------------|------------------|

※学年及び学校・指導員の所属は派遣当時のもの

James Molloy - MIRA Newsletter #20

JIMのみしまものがたり②⑩

三島の音

たった今、あなたの周りではどんな音がしていますか？立ち止まって、目を閉じ、耳を澄ませてみてください。

いかがですか？

まちでは、活気あふれるいろいろな音がしていますね。夏が近づいている今こそ、三島の音を聞くには最高のタイミングかもしれません。



通りを歩けば、頭の上で木がかさかさ鳴る音や冷たい川のせせらぎが聞こえてきます。窓の外に耳を傾けると、セグロセキレイのさえずりが聞こえ、コキジバトが歌いかけてきます。遠くから聞こえるのは、新しい仲間に出会った喜びいっぱいのカエルの合唱。



夜の空気をまとった東海道新幹線が力強く駆け抜ける音。稲妻が闇を裂き、どこかで遠雷が鳴っているその時に、手元のスマホに「ピン！」と着信が来ました。

去るゴールデンウィークに、三島現代音楽祭 “Mishima Contemporary Music Days” が開催されました。海外からの演奏家が奏でる音は、まるで未来への希望のようで、まちはその音楽に魅了されました。

この季節は午後7時ごろになると、しゃぎりの規則的なリズムと鳴り物の音が空気を伝わってきます。約450年続いた歴史と伝統が響き渡るのです。

いざ感覚を研ぎ澄ませてみると、日々耳に入る音よりずっと多くの音の存在に気づきませんか。

そして人々が発する音だけでなく、もっと大切な、音の本質が聞こえてくることでしょう。それらは決してお店で買うことはできませんが、いつでも、しかも無料で自分自身にダウンロードすることができるのです。



やさしい英語で 三島を紹介 しよう



近い将来、世界各地から、たくさんの外国人が三島へ観光に訪れることが予想されています。

あなたも「やさしい英語」で、外国人に三島を紹介してみませんか。

NO.
1

三島市の概要 Overview

三島市は、水と緑と文化のまちです。3つの特徴の最初は、清らかな湧水が豊富な所です。富士山の雪解け水が地下水となって、市内のあちこちから湧き出ています。2番目に、緑が多く憩いの場所がたくさんあります。最後に、歴史豊かなまちです。三嶋大社や楽寿園をはじめ、多くの歴史あるものに触れることができます。

Mishima is a city of water and culture. It has three significant features. First, it is a town rich in clear spring water. Snow from Mt. Fuji melts and flows under the rocks as underground water. The water makes a long trip to reach Mishima and gushes out here and there around the city as clear-water springs. Second, it is a town of greenery with many parks to relax in. Last but not least, it is a town rich in history. Mishima Taisha Shrine, Rakujuen Park and many other parts of the city are places of historical importance.

三島日本語サークルが創立20周年

❖ 西島教育長を表敬訪問 ❖



三島日本語サークルが発足したのは、1998年4月1日。当初は、講師の数より生徒の数が少なかったり、授業をおこなう場所もなかったりしましたが、外部講師による講演会、「日本語で遊ぼう」といったイベントの開催、近隣の日本語ボランティア会の見学など、さまざまな試行錯誤を重ね、現在の形となっています。

サークルの目的は、「日本語を学ぼうとする在住外国人に日本語を教え交流を図ることで日本語能力向上を支援する、また、相互の文化・習慣を理解し国際交流に貢献する」ことで、現在会員51名。学習者は、中国、インド、台湾、フィリピン、ベトナム、インドネシア、タイ、イタリア、ブラ

ジル、アメリカなど58名。1対1のプライベートレッスンを基本に、会員間の交流・勉強会、学習者のおしゃべり会・スピーチ発表会なども行っています。

去る3月27日、松田智子会長と河崎力副会長が、西島玉枝教育長を表敬訪問し、創立20周年記念誌を贈呈しました。また、あわせて、2009年度からおこなっている外国人児童・生徒への日本語学習支援の状況報告もおこないました。2018年度は3校4人を支援、2009年からでは、延べ50人を支援しています。

本年4月に改正出入国管理法が施行され、元号も変わって、外国人労働者の受入の質と量が大きく変化しようとしています。日本語サークルも在住外国人の日本語学習支援の一層の充実に向け、時代に即応した前向きに対応を図ろうとしており、今後の活動が大いに期待されます。

インドの文化を知ろう！

三島市「在住外国人と市民の交流事業」

石井シュクリシュナさんが講話 ～安久公民館～



三島市の「市民の国際理解の向上及び在住外国人と市民の交流の場の提供」を目的とした交流事業の第1回目が、5月14日(火)、安久公民館にて開催され、インド西ベンガル州出身で沼津市在住の石井シュクリシュナさんが、インド文化の紹介を行いました。石井シュクリシュナさんは日本に33年在住、日本とインドを行き来しながら、互いの文化を紹介し、両国の交流促進に尽力されています。

今回は、安久の住民60名ほどが、シュクリシュナさんのお話を通じて、インドの文化に親しみました。

インドは人口が13億人、若い人が多い、気候は暑いと思われていますが雪も降る、言語も350以上あり互いに全くわからない、カレーは確かに食べるけれど、カレーという調味料はなくて、様々なスパイスを使い分けながら味付けをする、サリーは一枚の数メートルもある布を体に巻き付けるように着用する。シュクリシュナさんが初めて刺身を食べた時のこと「インドで生ものを食べる習慣がなく不安でしたが、日本の人が皆おいしいと言って食べる姿を信じてトライしたら、本当においしかった。外国の文化に対しては、なぜなのかとネガティブに思うのではなく、なるほど、と思って理解することが必要」などなど、興味深いお話がありました。シュクリシュナさんが指導している民族舞踊「タゴールダンス」の生徒の皆さんによるステージは、曲も、詞も、衣装も普段とは違う雰囲気、ふるまわれたマンゴーラッシーを味わいながらの、楽しい異文化交流となりました。

第13回

フラワーアレンジメント講座



6月2日(日)、令和初のフラワーアレンジメント講座が生涯学習センター美術室にて開催されました。参加者の出身国は、マレーシア、シンガポール、ルーマニア、中国、日本などで、まず自己紹介からスタートしました。今回は世界の国々の初夏のお祭りにちなんだ紙の装飾をお花のアレンジに加えるということで、紙工作にも熱が入りました。和気あいあいと会話しながら作業したアレンジは個性豊かな出来映えとなり、家に飾るのが楽しみと皆嬉しそうに語っていました。

★ 三島市国際交流協会（MIRA）事務局
TEL 976-1020・FAX 976-1021
★ 三島市国際交流室 TEL 983-2645
三島市中央町 5-5 三島市役所中央町別館



7月からの主な行事予定

7月10日～ 14日	麗水市中学生(花園中)来島
7月5日～ 8月27日	夏期語学講座(中国語・韓国語・スペイン語)
7月30日～ 8月7日	フレンドシップ2019パサディナ市へ派遣
9月6日～ 11月22日	日本語の教え方講座
10月12日	英語スピーチコンテスト
11月17日	ふれあいフットサル大会
12月8日	中国語スピーチコンテスト
2月2日	新春交流パーティー
3月下旬	ニュープリマス市、麗水市研修生派遣

行事は都合により、日程・内容が変更になることがあります。

日本語の教え方講座 受講生募集

と き 令和元年9月6日～11月22日の毎週金曜日
午前10時～11時30分
と ころ 三島市役所中央町別館 会議室
内 容 外国人に日本語を教えるボランティア養成講座
対 象 三島市在住・在勤・在学の方または協会会員
定 員 20人 ※応募者多数の場合は協会会員優先
受講料 一般2,000円・協会会員1,000円
テキスト代別途
申込み 8月2日(金)までに、往復はがきに「日本語の
教え方講座申込」と明記の上、①住所②氏名
(ふりがな)③電話番号④協会会員か非会員か
を記入し、三島市国際交流協会へ郵送

問合せ・申込み

三島市国際交流協会 TEL976-1020
〒411-0866 三島市中央町5-5
三島市役所中央町別館2階



《三島商工会議所青年部》

YUKATAでPARADE農兵節

外国人参加者募集

日本の文化に触れてみませんか？

市民の方から頂いた浴衣を着て三嶋大祭りの
農兵節パレードに参加する外国人を募集します

日 時 8月17日(土) 10:00～

場 所 本町タワー4F

参 加 費 500円(着用した浴衣はさしあげます)

募集人数 30名(先着順)

募集締切 8月3日まで

申し込み 三島商工会議所 ホームページより

お問合せ

三島商工会議所

担当：池谷

TEL055-975-4441

FAX055-972-2010

前回の様子▶



グローバル人材育成プロジェクトin三島

みしまイングリッシュ・キャンプ ボランティア募集

みしまイングリッシュ・キャンプでは箱根の自然と
親しみながら、グループ活動する中で、簡単な英単語
を覚えたり、基本的な日常英会話を楽しんだりする講
座です。この事業をサポートしてくれるボランティア
を募集します。

日時：令和元年8月8日(木) 9:00～14:00

場所：箱根の里 (三島市字北原菅4710-1)

対象：三島市在住の小学5・6年生

講師：三島市小・中学校に勤務しているALT他

応募締め切り：7月12日(金)

定員：4名程度★交通費等の支給あります

申し込み、お問合せ

三島市教育委員会 学校教育課

TEL：983-2671



麦畑 (編集後記)

★Can you hear that? It's the sound of Mishima. (J)

★飢餓人口と肥満人口がともに7億人で拮抗。なんか変!! (S)

★地球規模的気候変動の脅威が初夏より30度越え (魚)

★落語にハマる。笑いと人情のエンターテインメント。素晴らしい (明)

★麗水市との交流盛ん。人が出会い深まる相互理解! (桜)

★オリパラは、TV観戦することが決まりました。 (青)